The Legacy of the Workshop and Residence: Looking Back, Looking Ahead

講座 1

堺鉄炮鍛冶と砲術家
― 井上関右衛門家資料を中心に ―

10/17㊏
午後2時～
（1時間程度）

募集人数35名

講師　藪田 貫 氏
（関西大学名誉教授）

講座 2

鉄炮研究の新しい扉
― 金属組織から見えてきたこと ―

11/1㊐
午後2時～
（1時間程度）

募集人数35名

講師　丸山 徹 氏
（関西大学化学生命工学部教授）

鉄炮鍛冶屋敷の
2026年度堺市と関西大学との地域連携事業
“これまで”と“これから”

会場　鉄炮鍛冶屋敷

参加費　無料
【別途入館料要】

● 講座・ワークショップの
お申込み・詳細はこちら

ワークショップ

襖（ふすま）の下貼りはがし ワークショップ

募集人数 15名

11/21㊏
午後2時～
（1時間30分程度）

※当日の様子は後日YouTubeで配信されます。

上：井上関右衛門壽次作火縄銃（堺市所蔵）
下：井上家に伝わる帳簿類（井上家所蔵）

主催　堺市・関西大学

The Legacy of the Workshop and Residence: Looking Back, Looking Ahead

鉄炮鍛冶屋敷
（堺市立町家歴史館 井上関右衛門家住宅）
堺市堺区北旅籠町西1丁3-22

施設詳細はこちら

江戸時代の鉄炮鍛冶の作業場兼住居である鉄炮鍛冶屋敷には、2万点以上の古文書をはじめとした歴史資料が現存しています。関西大学との共同研究調査の結果、堺の鉄炮生産の歴史を再評価する新たな成果が得られました。

本年は、こうした歴史資料の調査研究のこれまでの歩みを振り返り、今後の保存および活用のあり方について考える連続講座を開催します。また、かつて屋敷で使われていた襖の下貼りをはがし、古文書を保存する作業を体験するワークショップを開催します。これまでの調査研究成果を知り、歴史資料の魅力や価値に触れながら、その保存・活用について一緒に考えてみませんか。

アクセス

●阪堺電気軌道阪堺線「高須神社」停留場より西へ約300メートル
●南海本線「七道」駅より東へ300メートル

連続講座・ワークショップの申込方法

●申込期間　**9月25日(金)** 午前10時～実施日前日の午後5時

●申込方法　**072-228-1501**
（電話・ファックス番号共通）

先着順　定員に達し次第受付終了。

①氏名 ②電話番号 ③イベント名（日付・時間）をお伝えください

※ワークショップへのご参加の際は、汚れても差し支えない服装でお越しください。
※ワークショップへ当日はオンデマンド配信のための動画撮影を行います。

ワークショップのオンデマンド配信

当日の様子や講師による解説は、後日インターネットでご視聴いただけます。
(公開リンク先は後日堺市HPにてお知らせします)
公開期間：12月23日（水）～令和9年2月28日(日)(予定)

公開先の
YouTubeチャンネルはこちら
※公開期間外は視聴できません

関連企画

鉄炮鍛冶屋敷パネル展

in 堺市立中央図書館
1階エントランス
期間 11月11日(水)～11月29日(日)
午前10時から午後8時まで(土日祝は午後6時まで)
※毎週月曜日休館、ただし23日（月・祝）は開館

in 堺市立みはら歴史博物館
(M·Cみはら)1階エントランス
期間 11月11日(水)～11月29日(日)
午前9時30分から午後5時まで
※期間中16日（月）・24日（火）は休館

鉄炮鍛冶屋敷でのイベント

第5回鉄炮鍛冶屋敷企画展

堺緞通(だんつう)と鉄炮
－「緞通王」藤本荘太郎(ふじもと そうたろう)と井上関右衛門－
会期 10月7日(水)～12月7日(月)

国内の内国勧業博覧会や、バルセロナ、シカゴなど海外での万国博覧会への出品を通して堺緞通を堺の代表産業に成長させた「緞通王」藤本荘太郎（1849～1902）と、親戚にあたる「最後の堺鉄炮鍛冶」井上関右衛門壽次(ひさつぐ)の知られざる交流にスポットを当てます。

詳しくはこちら

問合せ先

［連携事業について］
堺市文化財課（堺市堺区南瓦町3-1）
TEL：072-228-7198　FAX：072-228-7228

［施設について］
町家歴史館指定管理者㈱パソナジョイナス
TEL・FAX：072-228-1501